

タブレット端末利活用検討会中間報告書

平成30年3月7日

宇都宮市議会議長 渡 辺 道 仁 様

タブレット端末利活用検討会
会長 五 月 女 伸 夫

本検討会は、平成27年6月より、タブレット端末の利活用について検討を進めてきたところでありますが、このたび中間報告をとりまとめましたので、その経過と結果について次のとおり報告いたします。

委 員 名 簿

(平成30年3月7日現在)

会 長	五月女 伸 夫
副 会 長	今 井 政 範
委 員	佐々木 均
同	久保井 永 三
同	小 平 美智雄
同	村 田 雅 彦
同	馬 上 剛
同	福 田 久美子

目 次

I	検討の経過	-----	1
	1		
	1	検討会の開会（平成29年2月の中間報告以降）	
	(1)	第14回検討会から第16回検討会まで	
II	報 告	-----	2
	1	タブレット端末操作研修会について	----- 2
	2	先進地視察について	----- 3
III	む す び	-----	4

I 検討の経過

1 検討会の開会等（平成29年2月の中間報告以降）

- (1) 第14回検討会（平成29年9月27日）
 - ア これまでの取組について確認した。
 - イ 平成29年度の取組について検討を行った。

- (2) タブレット端末操作研修会（平成29年11月22日）
 - ア 外部講師を招きタブレット端末操作研修会を開催した。

- (3) 第15回検討会（平成29年12月18日）
 - ア タブレット端末操作研修会について意見交換を行った。
 - イ 先進地視察について了承した。

- (4) 先進地視察の実施（平成30年1月15日）
 - ア 栃木県栃木市への視察を実施した。

- (5) 第16回委員会（平成30年2月13日）
 - ア 先進地視察結果について意見交換を行った。
 - イ 平成30年度の取組等について検討を行った。

Ⅱ 報 告

1 タブレット端末操作研修会について

本市議会では、平成27年12月にタブレット端末を導入し、運用から約2年が経過したところであるが、議員間でタブレット端末の操作スキルに差が生じている状況である。

平成29年2月の中間報告書のとおり、議員の操作スキルの向上を図るためには議員自身がタブレット端末の操作に慣れる必要があることから、平成29年11月22日に、外部講師を招きタブレット端末操作研修会を開催した。

研修会の内容は、サイドブッククラウド本棚とタブレット端末の利活用についてであり、便利な機能や効率的な使い方について説明を受けた。

参加議員全員がタブレット端末を持参し、実際にサイドブッククラウド本棚の「検索機能」、「メモ機能」、「ページ通知機能」、「しおりセット機能」等について端末で操作を行い、操作スキルの向上と今後の利活用の拡充に繋がるものであり、非常に参考になった。

今後も、研修会を開催するなど、更なるタブレット端末の利活用に向けて、操作スキルの向上に取り組む必要がある。

2 先進地視察について

タブレット端末の利活用及び今後の議会ICT化の方向性の検討に資するため、平成30年1月15日に栃木県栃木市への行政視察を行った。

栃木市議会では、平成28年6月からタブレット端末を導入し、本会議や委員会でも使用している。また、他市への行政視察時にも、事前に相手市から視察資料を提供してもらい、視察時にはその資料をタブレット端末で閲覧するなどの活用をしている。

議会フロアには、Wi-Fi通信に適応させるためにWi-Fiアクセスポイントを増設し、本会議中でもタブレット端末を充電できるよう議場内にコンセントを増設するといった通信環境の整備がされていた。

本視察においては、事前に栃木市より提供を受けた視察資料を、本市議会で利用しているサイドブッククラウド本棚にあらかじめ格納しておき、当日はタブレットのみ（ペーパーレス）で視察を実施した。

また、栃木市議会議会改革検討委員会の委員である3名の議員から直々に説明を受け、「本会議の一般質問の際には半数の議員がタブレット端末を使用しており、委員長報告の際にはすべての議員が使用していること」や「議案書等の資料作成や説明の仕方に関しては、執行部側がタブレット端末を導入しておらず紙資料を使用しているため、議会側のタブレット端末使用に合わせた取組みは現時点では特にしていない状況だが、今後は議会側から執行部のタブレット端末導入を提案していきたいと考えていること」など、議員が主体性を持ってタブレット端末の利活用に取り組んでいる様子を実感した。

本市議会においても、全議員でタブレット端末の更なる利活用に取り組むとともに、今後の利活用に向けたWi-Fi整備や議会ICT化などの課題整理に取り組む必要がある。

Ⅲ む す び

本検討会においては、平成29年2月の中間報告以降、各議員のタブレット端末の操作のスキル向上に努めるとともに、他市議会でのタブレット端末の導入後の検証などを踏まえ、タブレット端末の利活用による有効性などについて慎重に検討を重ねてきたところである。

今後は、タブレット端末の導入後の課題整理を進めるとともに、クラウドストレージサービス利活用の拡充や、平成31年の改選後を見据えた、機種変更、更には本市議会ICT化の方向性を含め検討を進めていく。